



駒澤会だより

第2号

(2004年8月1日)

発行：駒澤大学 駒澤会

◆◆◆会長就任のご挨拶◆◆◆

会長 磯田 昭



会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度は図らずも会長を仰せつかり、身の引き締る思いであります。

さて、本会は大学に関係ある宗門の方々と大学関係者、卒業生のご父兄が大学の発展を願い設立され、有為な学生を世に送り出すべく奨学金制度を設け、発足以来の支給者は810名に及ぶ、伝統ある会であることは皆様も誇りに思っていることと思っております。

これからも立派な伝統を引きつぎ、会の維持発展を図ることが、大学の発展につながることでありますので会員の皆様と力を合せ頑張って参る所存であります。就任にあたり、皆様の厚いご支援をお願いしご挨拶とさせていただきます。

◆◆◆会長退任にあたって◆◆◆

相談役 大村 宣雄

任期満了に伴い本年六月の総会に於いて退任する運びとなりましたことは、皆さまのご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

先代が駒澤会創立に携わり、昭和53年に息子が大学に入学して以来、父母会(現教育後援会)会長、駒澤会副会長、会長として10年余を務めさせていただきました。任期中は各委員の協力によって、会の改革、又大学創立120周年に際し1億円の寄贈が出来ました。今年度より磯田新会長のもと相談役として務める所存です。新会長共々皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

合掌



◆◆◆平成16年度駒澤会定期委員総会 開く◆◆◆

平成16年5月29日、駒澤大学本部棟6階会議室に於いて、奈良名誉会長出席のもと開催されました。上記の通り会長の交代、副会長の再任、監査は欠員補充に村田氏が就任されました。



15年度決算報告、16年度予算案が出席者により承認

され、各部活動状況、及び計画が発表され、出席者35名による総会はとどこおり無く終了し、引き続き、大学学生会館にて、奈良名誉会長、菅野新事務長を囲んで親睦会が開かれました。



◆◆◆初夏の親睦会(三溪園・中華街)レポート◆◆◆



6月12日(出)、26名が参加して恒例の「初夏の親睦会」が横浜三溪園と中華街で開催されました。

すに連れ卓を囲む声も弾み、懇親の時が流れて行きました。

親睦会を開催するに際して、事務局・役員・担当の厚生部の皆様に感謝申し上げると共に、ご参加頂いた皆さまのご協力にお礼申し上げます。

お疲れさまでした。(厚生部 井上 記)

午後2時に三溪園正門前に集合し、記念撮影の後、思いおみのルートで広い庭園内を散策しました。自然の景観が素晴らしく、丁度花菖蒲や紫陽花が開花して色鮮やかな時期で、古建築物とマッチして悠々の時を感じました。お茶や甘味を楽しんだ方、約2時間フルに歩いた方…等々。

午後5時、中華街「重慶飯店」に場所を移して中華料理で親睦を深めました。

ちょっと多めの料理に満足しつつ、お酒の量が増



◆◆◆大村前会長慰労会レポート◆◆◆

7月17日(土)大村前会長退任慰労会が奈良総長、大谷学長を始め33名の出席のもと都内ロイヤルパークホテルで開催されました。

奈良総長からは大村氏とは長いお付き合いの事で、柔和な中にも1本すじの入ったお人柄であると日頃私どもが大村氏に感服している通りのお話が有り、また大谷学長からは高祖道元禅師750年大遠忌に於いて、先導師の役をしていただいた、由のお話を頂きました。

長年の会長職のご苦勞に感謝しつつ、美味しいフランス料理をいただいた後、大学から感謝状と記念品が、会から記念品と花束が贈られました。又大村氏からの立派な引き出物を頂き、華やかで、楽しく、これからちょっと寂しくなるな、と思いつつ散会しました。



◆◆◆新役員紹介◆◆◆

名誉会長	奈良 康明	会長	磯田 昭	監査	澤畑 三郎	厚生部長	赤堀 菊絵
名誉副会長	大谷 哲夫	副会長	高笠 幹男	監査	戸谷 誠之	厚生部副部長	井上 俊夫
名誉副会長	竹花 光範	副会長	高見 静子	監査	村田 保廣	厚生部副部長	山田 元弘
名誉副会長	大淵 勝博	副会長	三宅 哲也				
				総務部長	萩原 孝久	広報部長	月村 貴久江
事務長	菅野 文夫	相談役	大村 宣雄	総務部副部長	神山 雅夫	広報部副部長	高橋 輝子
				総務部副部長	三崎 章子	広報部副部長	藤田 久子

◆◆◆各部紹介◆◆◆

総務部

皆様こんにちは。総務部部長の萩原孝久です。

駒澤会会則にあるとおり、総務部の仕事は駒澤会の会則・規程類の整備、年度事業計画の策定、予算案・決算案の作成、毎年5月末頃にかかれる委員総会や年4回の役員会その他の会議の招集と運営です。それと駒澤会の基金を管理運用する基金管理委員会の事務局としての役割もあります。地味な仕事ですが組織としての駒澤会の運営を司る大変重要な役目を負っています。実際の仕事では、これまで組織を作り上げてきた現執行部役員や駒澤会事務局に助けられている部分が多いのですが、これからは新しくメンバーを充実して総務部の運営を実質的に行って行けるようにしたいと思います。

平成15年度は、春の定例委員総会のほか10月、1月、4月に役員会を開催しました。また会長・副会長の改選時期にも当たったため、役員選任規程に基づき今年2月に役員推薦委員会を開いて討議の末それぞれの推薦候補を決定しました。

今年5月の委員総会では過去10年間務められた大村会長が退任され磯田新会長の下に新しい執行部が発足しました。会員の管理も総務部の仕事ですが、今後益々新規入会者が増えて駒澤会が発展するよう総務部も頑張っけてゆきたいと思ひます。

厚生部

厚生部部長 赤堀 菊絵



息子がこの大学にお世話になってから何年経つのでしょうか、教育後援会の頃から、厚生部の活動に関わってまいりました。秋の研修旅行を主軸に厚生部の仕事は会の皆さまに、楽しい遊びを送らせていただくことです。遊びの中から経験豊かな先輩の方々、仲間から、いろいろ学ぶことも多々あります、大学の校門をくぐり守衛さんに会釈をして、入るとき、日常の生活と違った時間の瞬間を味わい、楽しい仲間と遊び作りを為さませんか厚生部では貴方をお待ちしています。

広報部

広報部部長 月村 貴久江

広報部活動としては卒業時に駒澤会入会案内状の作成および配布を主に行動して来ましたが、会報作りが加わりました。ご意見や、アイデアをお寄せ下さい。会員の皆様に楽しんで頂ける様な会報作りを目指しております。



◆◆◆ 会員紹介 [村野常夫さん] ◆◆◆

広報部村野さんを訪ねて

駒澤会会員として、18年になられ、広報部に於いては、静かで、ひょうひょうとして部に関わられていられる村野さんを訪ねて6月3日駒大玉川校舎に赴きました。夕闇せまるグラウンドでは、アメフト、ラグビー、テニス、ボクシング、その他の学生達の元気な声が響き渡り、懸命な姿勢を目の当りにして、すがすがしい新鮮な気持ちになりました。

そんな中で、ボクシング部監督平田さん、ラグビー部監督喜楽師匠を囲んで、お話を伺いました。常日頃注目を浴びている、陸上の駅伝、野球部の選手と違い、ボクシング部やラグビー部(20年以上も監督なしで練習していたのを、駒大落研出身の喜楽師匠が見かねて手を差し伸べ監督を引き受け指導されている)それぞれの地道な練習の現状をうかがいました。そもそも村野さんとボクシング部との出会いは三男の息子さんが高校時代に始めたのを機にボクシング経験豊富な村野さんが、直接指導に乗り出し今や20年にもなるということです。

学生一人一人の身内的存在、東京の親父として、孫の様な学生達からじっちゃんと慕われ、ボクシングの指導のみならず、学生たちの生活



平田監督 村野さん 喜楽師匠



全般に於いてお世話していらっしゃる様子は、ボクシング部にとってなくてはならない存在の方と強調なさる監督の言葉にも頷けました。ボクシングが好き、ラグビーが好き、というだけで指導される監督、コーチ、それに関わる人々、ひたすら練習する選手達の努力が報われて欲しいな—と思いつつ取材をおえました。

(広報部 高橋 記)

部活に何を求めているのだろう。練習や試合を見ながら昔を懐かしみたいのか、あるいは果たせなかった夢を今一度見たいからなのか、そんな思いで二十年程になってしまった。いろいろな事があったが親と子の葛藤をいくつか見聞している。子の体重調整の失敗、心身の落込み、復活に賭ける父と子の七日間の断食の荒行、十ヶ月後子は見事復活。
ソウルオリンピックに失敗、父の失意子の落胆後事を託した父の無言の願望、子は友とマンツーマンで四年間の練習訓練、バルセロナオリンピックに出場。
この競技の性質上これほど情愛の濃い親子関係はないと思う。

村野常夫

編集後記

7月13日駒澤会からお呼び掛けして、教育後援会役員の方々と、駒澤会役員が片山部長先生出席の元、深沢校舎内に於いて会合を持つことができました。お互い連絡できる所を密にし、会員を駒澤会へと繋げていただけるようお話しして、和気あいあいの内終了いたしました。お忙しい中御出席いただいた教育後援会役員の方々には感謝申し上げます。

大村会長退任、磯田会長就任と大事なお知らせと共に行事、部の紹介、会員紹介と盛りだくさんになりました。又秋の勝沼フルーツランド研修旅行には是非皆様ご参加ください。